

これからの足利シティプロモーション
2019



足利市

令和元（2019）年8月

目次

1. はじめに	P.2~P.3
(1) 「これからの足利シティプロモーション 2019」について	
2. これまでの取り組みと効果	P.4~P.7
(1) これまでの足利シティプロモーションの主な取り組み	
(2) 足利シティプロモーションの効果	
3. 足利市が目指す将来都市像	P.8~P.9
(1) 足利市が目指すまちづくり【将来都市像】に向けて	
4. これからの足利シティプロモーション	P.10~P.12
(1) 足利シティプロモーションの目的	
(2) まちへの愛着からシビックプライドへ	
5. 足利シティプロモーションの今後の事業展開	P.13~P.17
(1) これからの足利シティプロモーションの方向性	
(2) 足利シティプロモーションは次の展開へ	
(3) 「素通り禁止！足利」プロジェクトは市民の手により“自走”へ	
(4) 移住定住やまちへの参加促進事業との連携	
(5) 足利シティプロモーションの推進体制	
6. 足利シティプロモーションの評価方法	P.18~P.19
(1) 足利シティプロモーション・ロゴマークやキャッチコピーなどの評価	
(2) 修正地域参画総量指標【mGAP】による地域参加意欲の定量化（評価）	
7. 資料編	P.20~P.26
(1) シティプロモーションとは	
(2) 平成30（2018）年度足利シティプロモーション推進事業【ワークショップ】	
(3) 平成30（2018）年度足利シティプロモーション推進事業【シンポジウム】	

1. はじめに

1. はじめに

(1) 「これからの足利シティプロモーション2019」について

足利市では、市民一人ひとりの郷土への関心・愛着・誇りを醸成し、地域への参画を促していくための基本的な考え方を示した「足利シティプロモーション基本方針」を平成28（2016）年3月に策定し、これを軸としてこれまで3年間様々な取り組みを行ってきました。

この「これからの足利シティプロモーション2019」は、その基本方針をもとに、これまでの実績を踏まえて内容を見直し、足利シティプロモーションの今後の方針についてまとめたものです。

▶基本方針の中で提起されたステートメント（平成28（2016）年3月）

市民による協議会で足利の「強み」を活かし、かつ課題を解決していくための「ありたい姿」の構成要素を出し合い、「足利らしさ」を踏まえた**ステートメント**（注1）を提起しました。

足利シティプロモーション・ステートメント

一人ひとりが「素」的に輝くまち・足利

足利のValue（価値）

豊かな自然と、深い歴史を持つ足利は
多種多様な文化が融合し
様々な人や物との出会いが「縁」を生むまちです。

足利のMind（気質・気風）

今までも、これからも、足利人は
個性やこだわりを尊重し
なにげない日常にふとした心地よさを見出します。

足利のVision（目標）

一人ひとりが自分らしく「素」的に輝き
そこで暮らすこと、そこを訪れることが
自慢になるようなまちを目指します。

（注1）ステートメントとは、目指す姿・ありたい姿を数行のわかりやすい文章で書き表したものです。広報用キャッチフレーズとは違い、短い言葉に象徴化させたものではなく、市内外に伝えたいこと、伝えるべきことを率直に、豊かに表現するものです。

2. これまでの取り組みと効果

2. これまでの取り組みと効果

(1) これまでの足利シティプロモーションの主な取り組み

▶「素通り禁止！足利」プロジェクトスタート（平成29（2017）年1月～）

「素通り禁止！足利」を合言葉に、市内外の皆様に対して、「足利の素通りできない魅力を集めて、足利がどんなまちなのかを一緒に考えていこう！」という発信を行ってきました。



▶写真を活用した魅力発信（平成30（2018）年度～）

日本最大の審査制写真投稿サイト「東京カメラ部」と連携して、足利の魅力を発信する写真展などを開催しました。



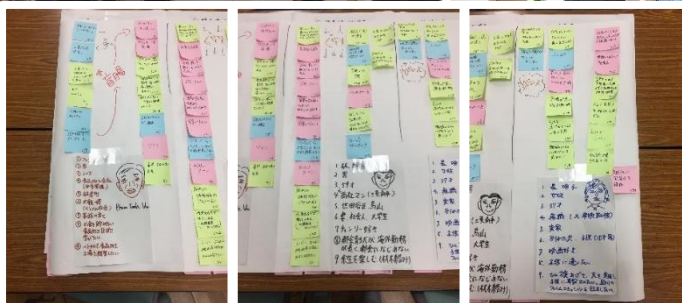
2. これまでの取り組みと効果

▶市民ワークショップの開催（平成30（2018）年度）

これまでの「素通り禁止！足利」を通して、
「足利の何が、どんな人が『素通り禁止！』なのか？」市民の皆様と
今一度よく考えてみたいと思い、【ワークショップ】を開催いたしました。



★足利だから実現できるライフスタイルについて
一緒に考えました。



▶シティプロモーションシンポジウム（平成31（2019）年3月）

上記のワークショップ活動の発表の機会として、
また市制100周年を迎えるにあたり、足利シティプロモーションはどうなっていくべきかを
市民の皆様と共有する機会として、【シンポジウム】を開催いたしました。



▶【ワークショップ】【シンポジウム】については7. 資料編をご参照ください。

2. これまでの取り組みと効果

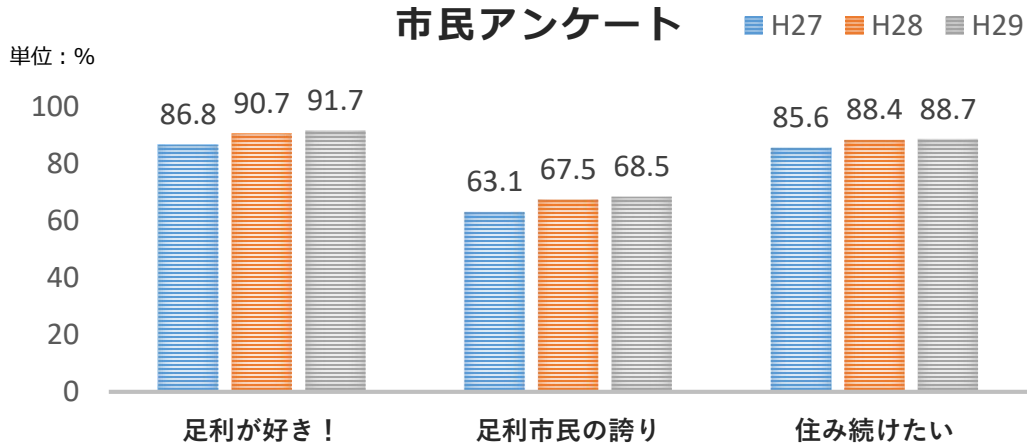
H27年(2015)年
H28年(2016)年
H29年(2017)年
H30年(2018)年

(2) 足利シティプロモーションの効果

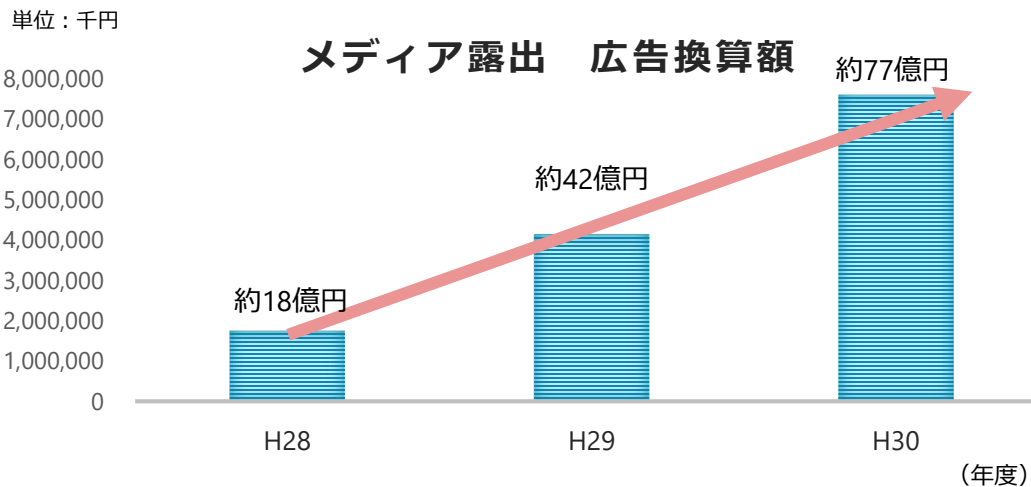
このように、足利市では、平成28年に策定した「足利シティプロモーション基本方針」を軸として様々なシティプロモーション活動を推進してきました。

▶ 1. はじめに、及び 7. 資料編参照

少しずつですが、まちに関心を持つ人が増え、またテレビ等に取り上げられることも増えました。



「足利が好き」な市民は多い！（直近で91.7%）
「好き」や「誇り」をシビックプライドにつなげていくことがシティプロモーションの課題



メディア露出・広告費換算だけでは質は見えてこない。
シビックプライド醸成につながる内容を意識したメディア対応もシティプロモーションの役目

3. 足利市が目指す将来都市像

3. 足利市が目指す将来都市像

(1) 足利市が目指すまちづくり【将来都市像】に向けて

足利市は、第7次足利市総合計画に掲げられた将来都市像の実現を目指しています。そして、足利シティプロモーションの役割はまちづくりの推進力となる「市民の力」を高めることです。

■ 第7次足利市総合計画に定める将来都市像

「学びあいつながりあい ま ち 元気に輝く都市 足利」

～ひとをつくり、産業をつくり、まちをつくる～

足利市は、日本最古の学校のあるまちとして脈々と受け継がれてきた自学自習の精神と、先人が守り育ててきた自然、歴史、文化及び産業などの多くの財産を有しています。

この精神と財産にさらに磨きをかけながら、まちづくりを推進していくのは、自分たちのまちに愛着をもち、まちのために自ら進んで考え、行動する「市民の力」です。

そして、この市民の力は、市民が自ら学び、お互いを育て、「人と人」「人と産業」「人とまち」がつながりあうことでさらに高まります。

令和3（2021）年には、足利市は市制施行100周年を迎えます。市民一人ひとりが郷土を愛し誇れる心を次代に継承していくことで、次の100年も希望にあふれ“元気に輝く都市”であり続けることを目指します。

（第7次足利市総合計画より抜粋）

まちづくりを推進していくのは、
自分たちのまちに愛着をもち、
まちのために自ら進んで考え、行動する

「市民の力」

この「市民の力」を高めていくことが
足利シティプロモーションの役割

将来都市像

学びあいつながりあい
元気に輝く都市 足利

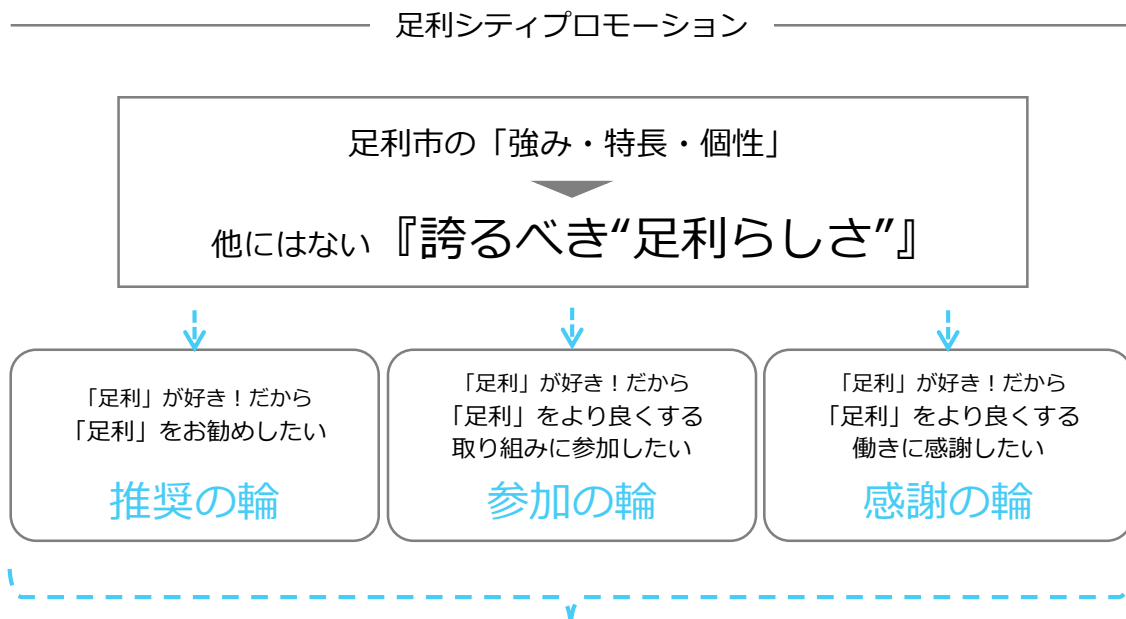
4. これからの足利シティプロモーション

4. これからの足利シティプロモーション

(1) 足利シティプロモーションの目的

人口減少と少子高齢化が進む地域社会において、5年後、10年後、そして100年後のまちの姿を見据えながら、活性化を図るためには、「市民の力」を推進力とすることが不可欠です。

そのような「市民の力」をもっと高めるために多くの地域資源が存在するまち足利市の「強み・特長・個性」を最大限に活用し、足利に関わる人、足利を愛する人、一人ひとりが感じている『誇るべき“足利らしさ”』を市内外に向けて発信し、これに対する**推奨・参加・感謝の輪**（⇒**足利シビックプライドの輪**）を広げていくことが、足利シティプロモーションの目的です。



足利シビックプライドの輪を広げる

足利市に対する

- ・一人ひとりのシビックプライドが高まる
- ・シビックプライドを持つ人が増える

足利シティプロモーションでは、平成29（2017）年度よりアドバイザーをお願いしている東海大学 河井孝仁教授の考えを基礎にしています。

河井教授は、まちに住む人たちや、まちの外からまちに共感する人による「まちをお勧めしたい」「まちを良くする取り組みを行いたい」「まちをより良くしようという働きに感謝したい」という意識を「地域参加意欲」と定義し、シティプロモーションはその「地域参加意欲」を持つ人を増やしてまちの活力につなげる取り組みとしています。（詳細は、P217.資料編参照）

4. これからの足利シティプロモーション

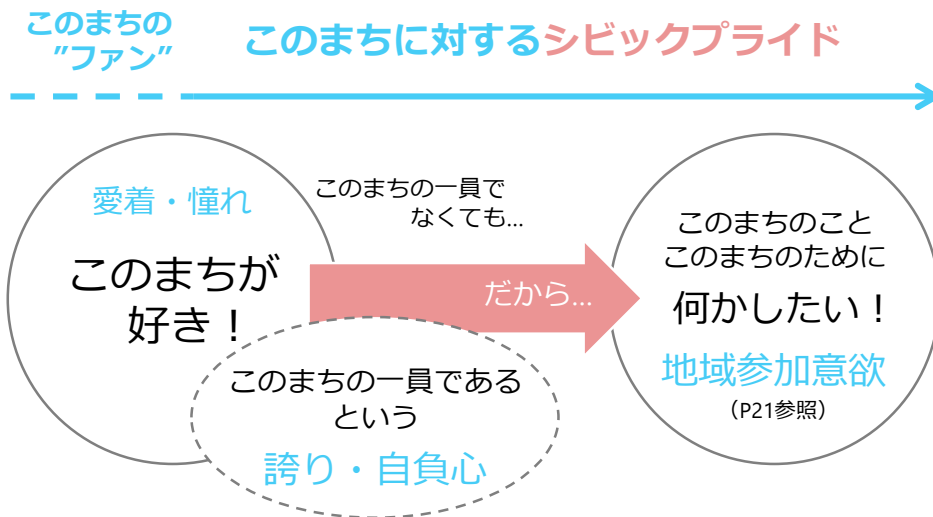
(2) まちへの愛着からシビックプライドへ

足利シティプロモーションでは、まちへの愛着や誇りに留まらず、“この都市（地域）をより良い場所にするために自分自身がかかわっている”という当事者意識、あるいは当事者としての誇りである「シビックプライド（注2）」につなげ、まちの活力とすることを目指します。

（注2）19世紀のイギリスの都市で生まれたものと言われ、個人個人がまちに抱く誇りや愛着のことを言います。市民の一人ひとりがまちを構成する一員であるという当事者意識を持って自発的にまちづくりに参加すること、まちをより良いものにするための取り組みに積極的に関わることを大切にする考え方です。しかしながら「シビックプライド」はあくまで、自由さや自律性を持った「感性」であり、必ずしも“地域参加”といった行動を伴うとは限りません。また必ずしも“まちの構成員”である必要もありません。

■シビックプライド研究会「シビックプライド」H20（2008）年「シビックプライド2」H27（2015）年 宣伝会議 を参考にしています。

～ 「このまちが好き！」からシビックプライドへ～



5. 足利シティプロモーションの今後の事業展開

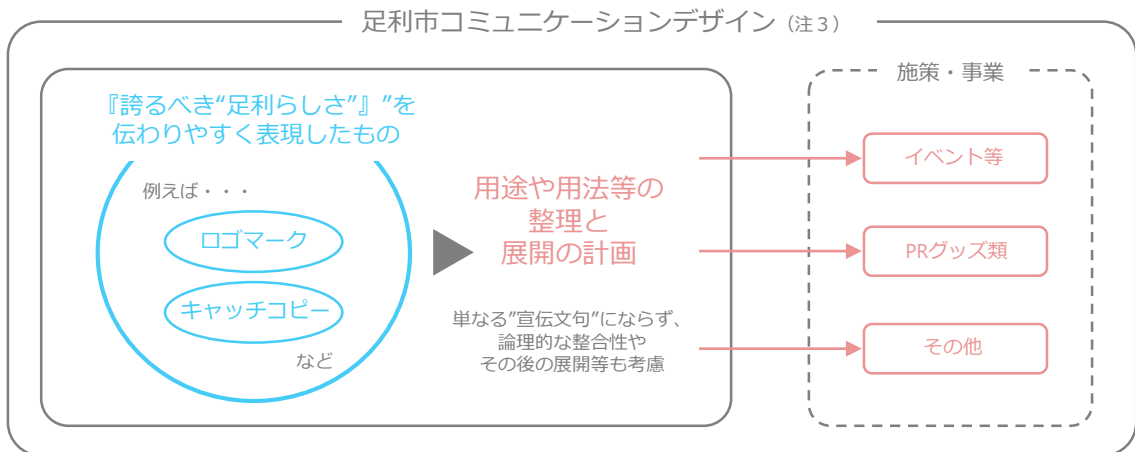
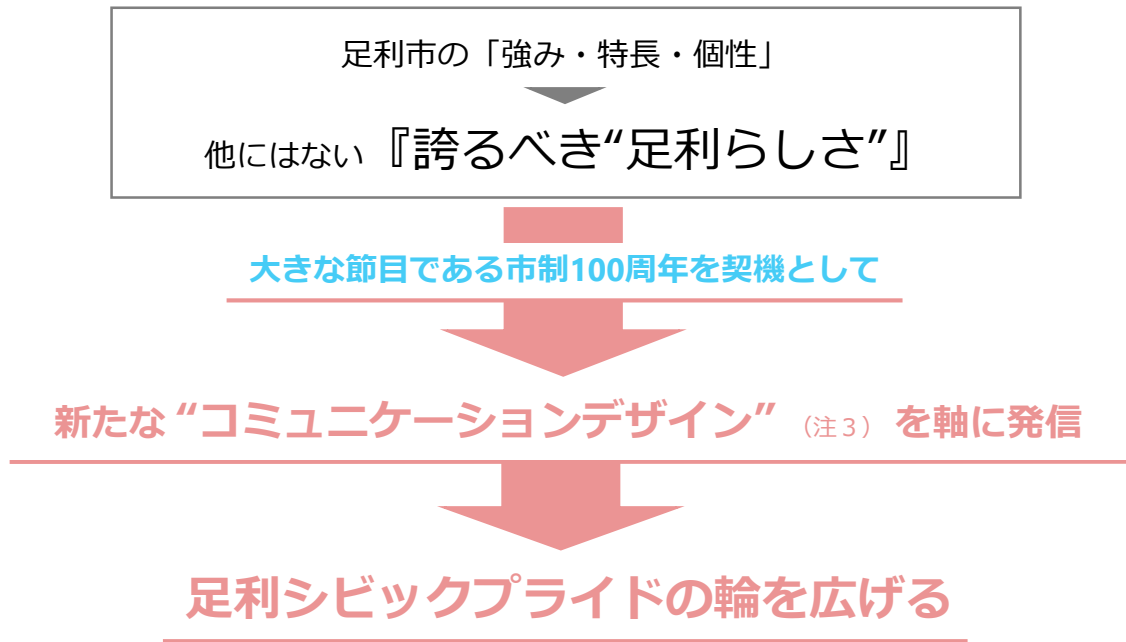
5. 足利シティプロモーションの今後の事業展開

(1) これからの足利シティプロモーションの方向性

これからの足利シティプロモーションでは、足利市にとって大きな節目となる市制100周年を契機として、「素通り禁止！足利」プロジェクトやこれまでの取り組みで再発見された足利市の「強み・特長・個性」を整理し『誇るべき“足利らしさ”』として表現します。

そして、それを形にした新たな“デザイン”を軸として、市内外に発信しコミュニケーションを図っていくことでシビックプライドの輪を広げていきます。

これからの足利シティプロモーション



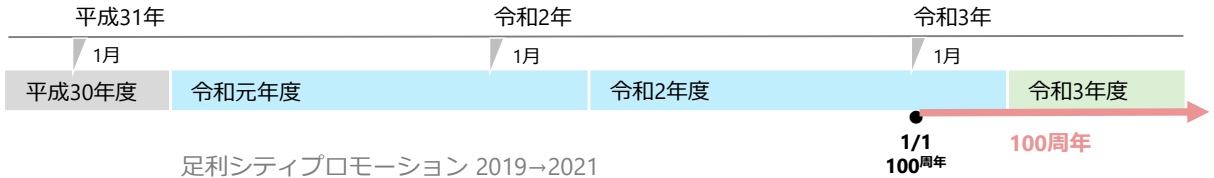
(注3) コミュニケーションデザインとはコミュニケーションの形や仕組み、すなわち「伝え方・伝わり方」をデザインするというものであり、単にロゴマークやキャッチコピー等を作成することだけではありません。

5. 足利シティプロモーションの今後の事業展開

H30年 (2018) 年
H31年 (2019) 年
R元年 (2019) 年
R 2年 (2020) 年
R 3年 (2021) 年

(2) 足利シティプロモーションは次の展開へ

令和3年1月、足利市は市制100周年を向かえます。足利シティプロモーションの次の展開では、この大きな節目を最大限に活用するために、年度単位ではなく3年間（令和元年～令和3年）を一つの取り組み期間として展開していきます。



足利シティプロモーション 2019→2021

「素通り禁止！」その先にあるもの。その先にある、足利へ。

- コミュニケーションデザインの整理
 - 『市制100周年』 に向かう“潮流”の形成
 - 次の100年に向けての新しい足利の始まり

100年後の足利を、今、はじめよう。

(3) 「素通り禁止！足利」プロジェクトは市民の手により“自走”へ

「素通り禁止！足利」プロジェクトは、人々がまちの魅力を発散し共有するためのきっかけとなる仕組みです。



平成29年1月に始まったこのプロジェクトは、現在、#素通り禁止足利 によるSNSでの広がりや、市民ライターの活躍、民間企業との連携等により、行政による管理運営によることなく自走しはじめています。シティプロモーションのあるべき姿の一つと言えるでしょう。

市制100周年を控えた今、“素通りしない”で気がついた足利の財産を市民自らがつなぎ合わせ、活用するという段階にきています。これからも足利シティプロモーションのひとつの手法として、コミュニケーションデザインの中に位置付けていきます。

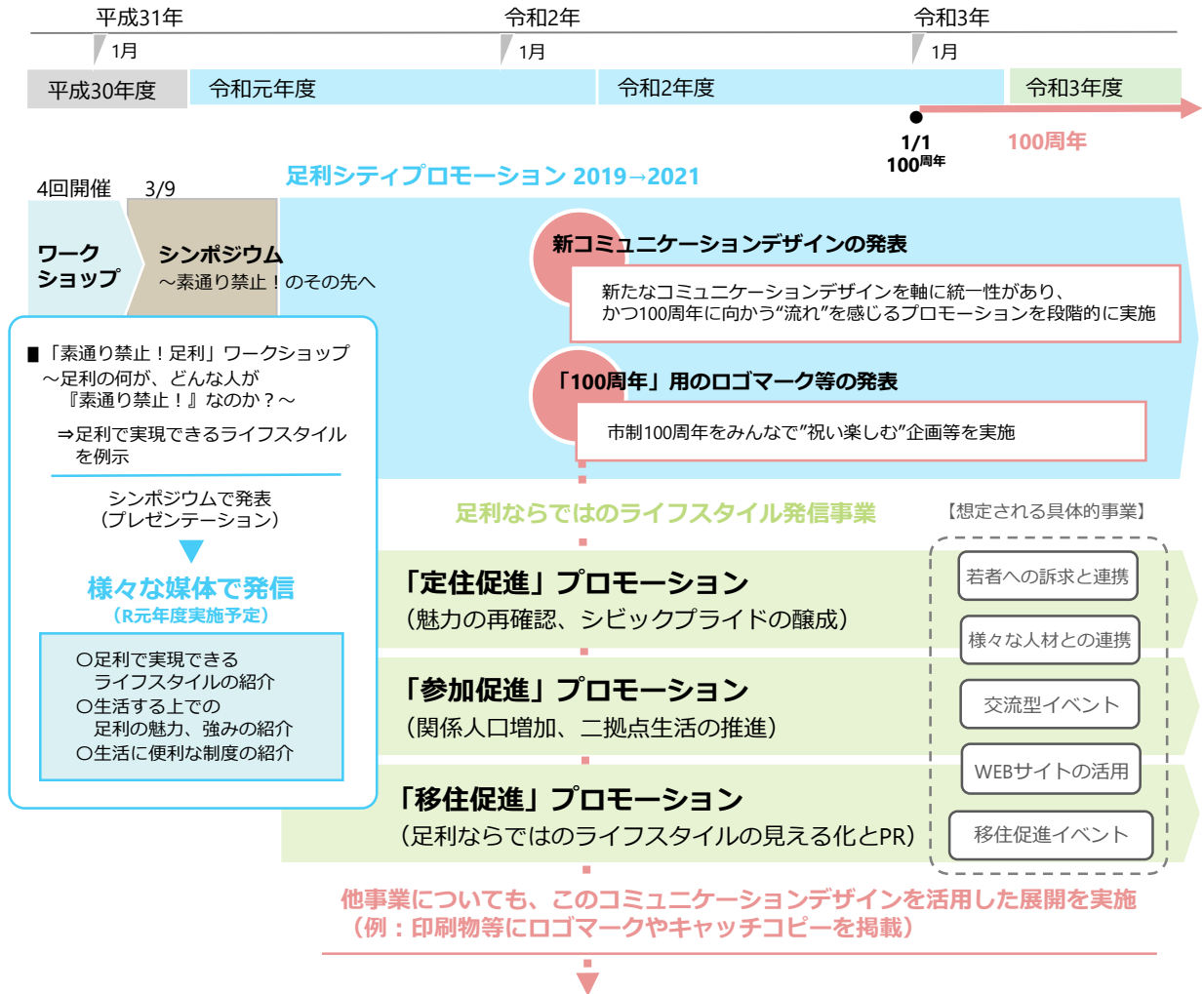
5. 足利シティプロモーションの今後の事業展開

H30年 (2018) 年
H31年 (2019) 年
R元年 (2019) 年
R2年 (2020) 年
R3年 (2021) 年

(4) 移住定住やまちへの参加促進事業との連携

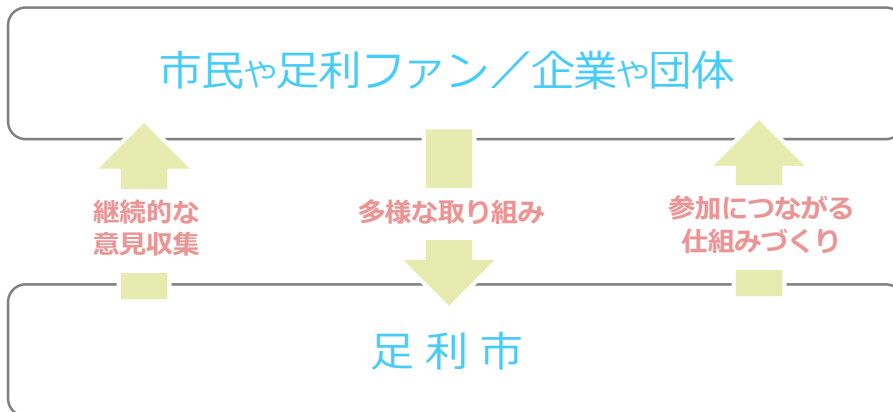
足利シティプロモーションは、足利ならではの「暮らし」を紹介し、移住・定住やまちへの参加促進につなげていく事業とも連携をします。

また、それぞれの事業についても、新たなコミュニケーションデザインに沿った展開を意識して実施します。



(5) 足利シティプロモーションの推進体制

足利シティプロモーションの各事業を進めるにあたっては、多くの市民や足利ファン、様々な企業や団体と連携し進めていきます。



6. 足利シティプロモーションの評価方法

6. 足利シティプロモーションの評価方法

(1) 足利シティプロモーション・ロゴマークやキャッチコピー等の評価

足利シティプロモーションのロゴマークやキャッチコピー等の浸透度や印象、共感度を市民アンケート等を通して調査します。

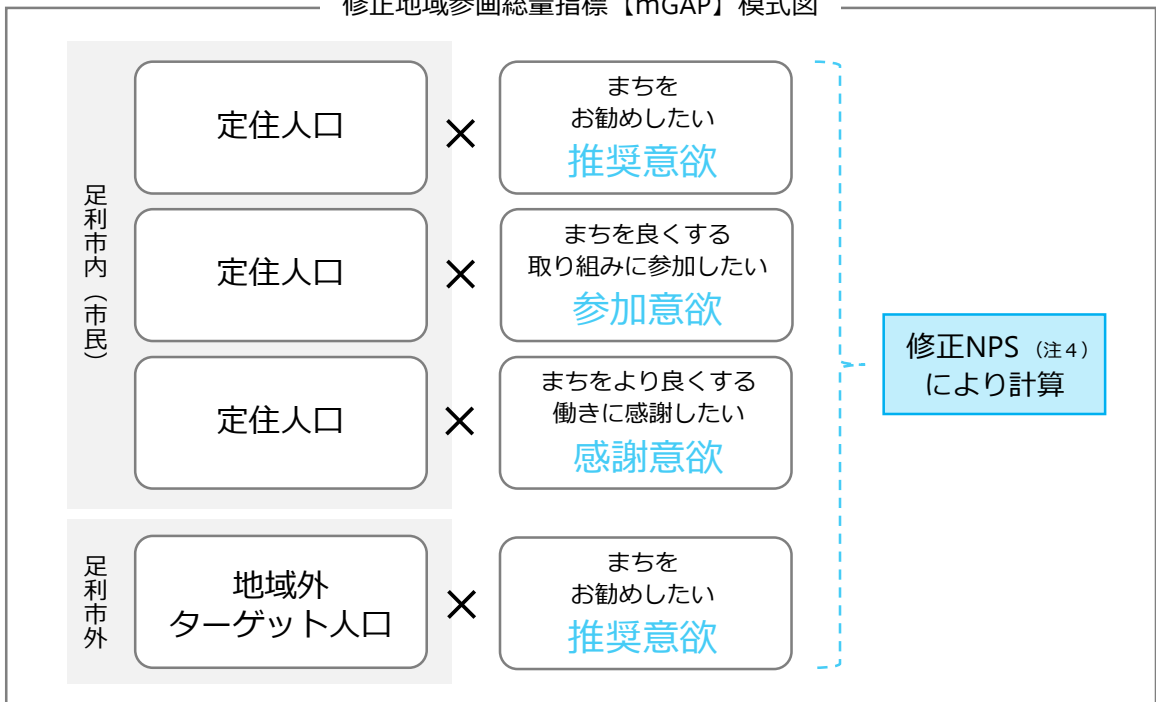
(2) 修正地域参画総量指標【mGAP】による地域参加意欲の定量化（評価）

地域参加意欲を構成する下記の3つの意識/意欲を定量化する方法が、東海大学文化社会学部河井孝仁教授が提唱する修正地域参画総量指標【mGAP（modified Gross Area Participation）】です。

- ・ 足利というまちをお勧めしたいと思う意識/意欲
- ・ 足利を良くする活動に参加したいと思う意識/意欲
- ・ 足利を良くする活動に対する感謝したいと思う意識/意欲（⇒他人事と思わない気持ち）

市民及び市外ターゲットの地域参加意欲を定量化することで足利シティプロモーションの成果を評価します。

修正地域参画総量指標【mGAP】模式図



(注4) 修正NPS（ネット・プロモーター・スコア）とは経営コンサルタントのF・ライクヘルドにより提唱された、顧客満足度を客観的に計測するための手法を基に、河井教授が日本におけるシティプロモーション評価に適合するよう一部修正したもの。

7. 資料編

(1) シティプロモーションとは

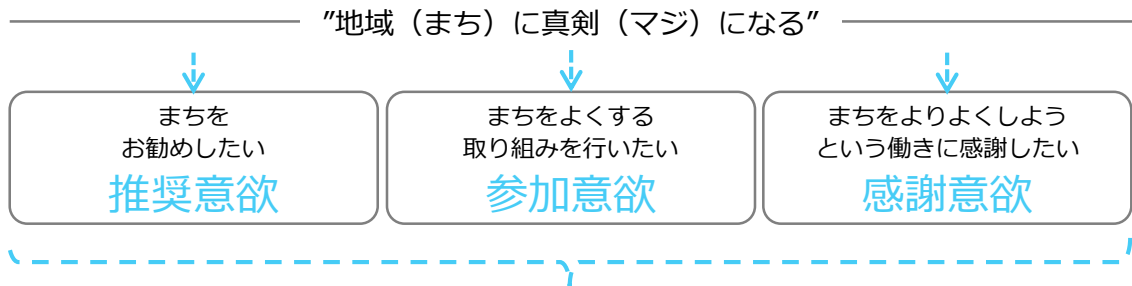
足利シティプロモーションでは平成29（2017）年度より東海大学文化社会学部 河井孝仁教授にアドバイザーをお願いしています。

河井教授は、著書の中でシティプロモーションについて、以下のように書かれています。

「シティプロモーションとは何か」をひとこと言うなら
「地域（まち）に真剣（マジ）になる人を増やすしくみ」だと言えるだろう。
地域（まち）に真剣（マジ）になる人を増やすことによって、地域（まち）の力を強くする。
それがシティプロモーションである。

シティプロモーションは、まちをいきいきさせるための、
熱を持ったしなやかな土台をつくる取組みである。
まちに住む人たちや、まちの外からまちに共感する人たちによる、
「まちをお勧めしたい」「まちをよくする取組みを行いたい」
「まちをよりよくしようという働きに感謝したい」という意欲をまちに取り込むことが、
熱を持ったしなやかな土台をつくることになる。

■ 「シティプロモーションでまちを変える」H28（2016）年 彩流社、「失敗からひも解くシティプロモーション」H29（2017）年 第一法規より



こういった意欲をまとめて**地域参加意欲**といいます。

河井教授によると、「シティプロモーション」とは以下ようになります。

シティプロモーションとは

- ・ 一人ひとりの**地域参加意欲**を高める
- ・ **地域参加意欲**を持つ人を増やしていく

活動やしぐみ、取組みである。

(2) 平成30（2018）年度足利シティプロモーション推進事業【ワークショップ】

平成30年度足利シティプロモーションではアドバイザーである河井教授、および足利シティプロモーション基本方針を策定したスタッフを交え、協議を重ねながら、平成30年度のシティプロモーション推進事業を企画実施いたしました。

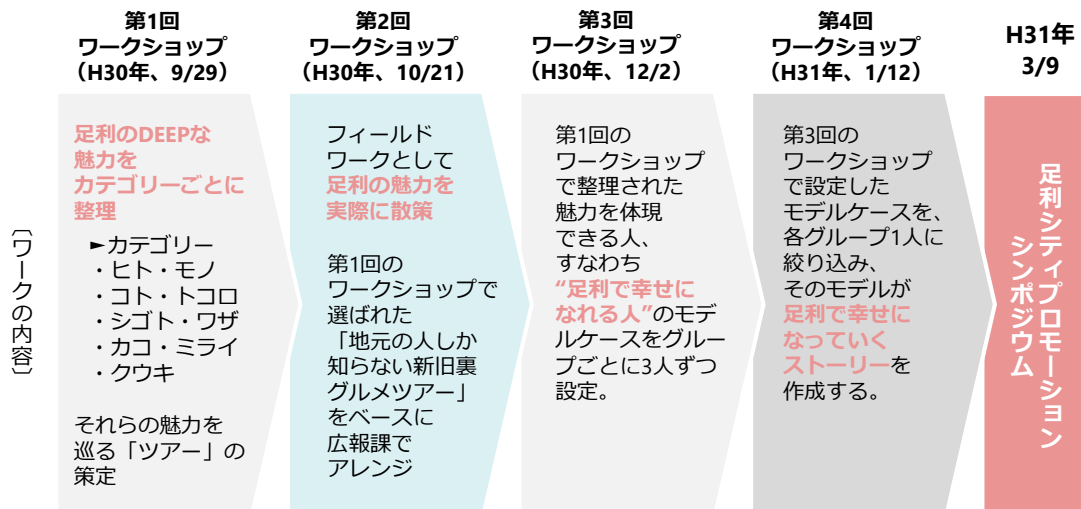
そのうえで、「足利の何が、どんな人が『素通り禁止！』なのか？」市民の皆様と今一度よく考えてみたいと思い、【ワークショップ】を開催いたしました。

また、そのワークショップ活動の発表の機会として、そして市制100周年を迎えるにあたり、足利シティプロモーションはどうなっていくべきかを市民の皆様と共有する機会として、【シンポジウム】を開催いたしました。

河井教授との打合せ

日付	場所	協議内容（主たる議題）
平成30年5月11日（金）	都内カフェ（代々木）	平成30年度足利シティプロモーションの考え方・進め方について
平成30年6月20日（水）	東海大学（神奈川県・秦野）	平成30年度足利シティプロモーションの考え方・進め方について
平成30年7月17日（火）	広告会社（東京都・京橋）	平成30年度足利シティプロモーションの考え方・進め方について
平成30年9月20日（木）	都内貸し会議室（新宿）	第1回ワークショップの進め方について
平成30年11月26日（月）	都内カフェ（代々木上原）	第3回ワークショップの進め方について
平成30年12月21日（月）	都内ホテルラウンジ（品川）	第4回ワークショップおよびシンポジウムの進め方について
平成31年3月7日（木）	羽田空港内カフェ（東京都）	シンポジウムの進め方について

足利シティプロモーション ワークショップ～シンポジウム



★各ワークショップ及びシンポジウムの進行（ファシリテーター）は河井教授（第2回のフィールドワーク「足利DEEPツアー」を除く）

第1回ワークショップ

足利のDEEPな魅力をカテゴリーごとに整理

日時
場所

○平成30（2018）年9月29日（土）13時～16時
○コミュニティカフェ「マチノテ」

ワーク
内容

○足利のDEEPな魅力をカテゴリーごとに整理。（A、B、C、Dのグループに分かれて）
▶カテゴリー ・ヒト・モノ・コト・トコロ・シゴト・ワザ・カコ・ミライ・クウキ
○それらの魅力を巡る「ツアー」の策定
▶各グループのプレゼンテーションにより次回のワークショップ（フィールドワーク）で実施する「ツアー」を決定する。



「ツアー」に
決定したプラン



ワーク

第2回ワークショップ

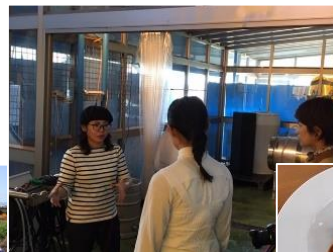
足利のDEEPな魅力を実際に散策（フィールドワーク）

日時
場所

○平成30（2018）年10月21日（日）9時半集合～18時解散
○足利市役所駐車場（集合・解散）～足利市内各所

ワーク
内容

○フィールドワークとして足利の魅力を実際に散策。
○第1回のワークショップで選ばれた「地元の人しか知らない新旧裏グルメツアー」をベースに広報課でアレンジ。



第3回ワークショップ

“足利で幸せになれる人”のモデルケースの設定

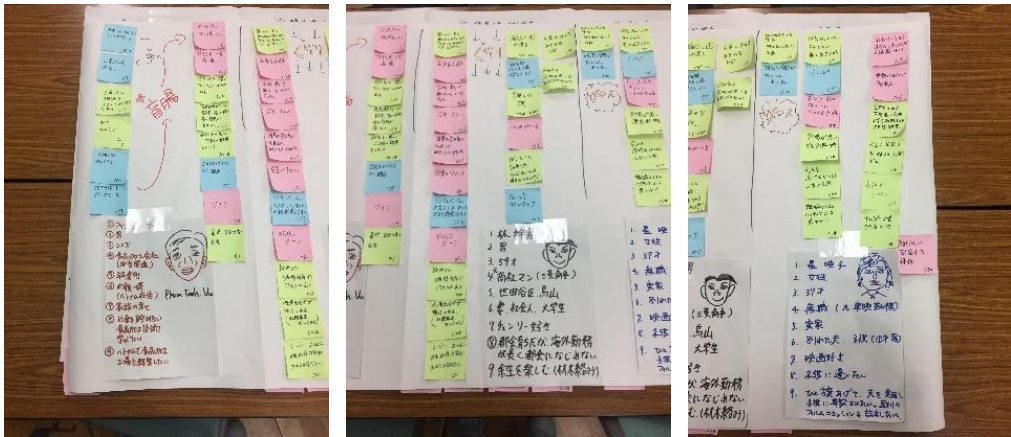
日時
場所

○平成30（2018）年12月2日（日）13時～16時
○足利市生涯学習センター

ワーク
内容

○第1回のワークショップで整理された魅力を体現できる人、
“足利で幸せになれる人”のモデルケースをグループごとに3人ずつ設定。

例：Aグループ



第4回ワークショップ

足利で幸せになっていくストーリーの作成

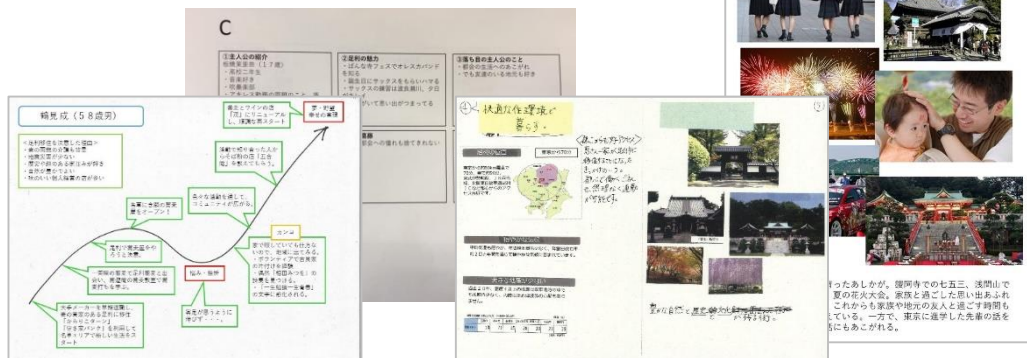
日時
場所

○平成31（2019）年1月12日（土）13時～16時
○足利市生涯学習センター

ワーク
内容

○第3回のワークショップで設定したモデルケースを、各グループ1人に絞り込み、
足利で幸せになっていくストーリーを作成する。
▶成果物は「足利シティプロモーションシンポジウム」にて発表する。
(プレゼンテーション)

グループごとにストーリーの設定が異なるだけではなく、
プレゼンテーションに向けてのまとめ方や見せ方も様々。



(3) 平成30（2018）年度足利シティプロモーション推進事業【シンポジウム】

シンポジウム

～『素通り禁止！』がくれたもの～

日時
場所

○平成31（2019）年3月9日（土）13：30～16：40
○足利市民会館 小ホール

足利の「魅力」を表現した写真を
パネルにて掲出展示

150～200人が着席できるよう椅子を配置
※状況に合わせて増減



素通り禁止！
足利

足利シティプロモーション シンポジウム

～『素通り禁止！』がくれたもの～

「素通り禁止！足利」プロジェクトがスタートして2年がたちました。
そして今、多くの皆さんの手によりその輪は広がっています。
このシンポジウムでは、これまで関わりのある方々をお招きし
足利シティプロモーションについて様々な角度から考えます。
そして一緒に次のステージへとスタートしましょう！

日時 3月9日（土）13:30～16:40（受付 13:00～） **会場** 足利市民会館 小ホール（足利市有楽町 837）

申込方法 メールまたは電話で事前申し込みをしてください。詳しくは裏面をご覧ください。
☎ office@city.ashikaga.lg.jp ☎ 0284-20-2261（足利市役所 広報課 シティプロモーション担当宛）

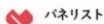
入場無料
先着
150人

※要事前申し込み



総合コーディネーター
東海大学 文化社会学部 広報メディア学科 教授 河井 孝仁さん

博士（情報科学・名古屋大学）静岡県庁入庁、静岡県庁企画部情報政策室、(財)静岡総合研究機構派遣等を経て、2010年より現職。
多数の自治体のシティプロモーションに関わり、2017年から足利市のシティプロモーションアドバイザーも務める。
著書に『シティプロモーションでまちを変える』『ソーシャルネットワーク時代の自治体広報』『シティプロモーション 地域の魅力を工作して』『失敗』からひも解くシティプロモーションなど「成否」をわけたのち」など多数。



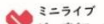
パネリスト
タレント 手島 優さん

あしかか輝き大使、とちぎ未来大使。
足利市瑞辺町生まれ、市内の小中高校を卒業。
実家は市内の老舗旅館。
タレントとして多くのテレビ番組等に出演中。



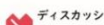
パネリスト
歌手 小田 えつこさん

足利市在住。
ジャンルを越えた幅広いレパートリーと軽快なトーク
で観客を魅了するライブを各地で展開中。
市内のイベントや市主催のイベントにも多数出演。



ミニライブ
ジャズピアニスト 板橋 文夫さん

1949年足利市生まれ。遠辺員夫フインテットでプロデビューし、その後も国内外の著名なミュージシャンと多くのステージに立つ。昨年6月には「あしかかアートクロス」の一環として足利織姫神社で開催された「踊る身体 踊り場・叩き場」でダンサー・田中浪氏と共に出演した。



ディスカッションゲスト
クリエイティブディレクター 佐倉 康彦さん

足利市出身の著名なコピーライター、クリエイティブディレクター、サントリー・ザ・カクテルバー「愛だろ愛！」や、最近では総合人材サービスパーソルホールディングスの企業スローガン「はたらいて、笑おう。」等、多くの有名企業のコミュニケーションデザインを担当。



足利にちなんだ
エンターテインメント
パフォーマンスも



ダンスパフォーマンス
雅縁軍 KAENN-GUN

足利市在住のダンサー sharyAにより結成されたダンスグループ。「栃木から世界へ」をモットーに、小中学生をメインに2018年2月に結成。2018年、世界的なダンスコンテスト「WORLD OF DANCE」にて過去最高得点を記録し、アメリカで行われた決勝への進出。
足利市がメインロケ地となったドラマ「今日から俺は!!」のダンス動画が話題沸騰中の今注目のグループ。

問合せ・申し込み：足利市 総合政策部 広報課 シティプロモーション担当

☎ office@city.ashikaga.lg.jp ☎ 0284-20-2261（受付時間 月曜日から金曜日 8:30～17:00）主催：足利市

素通り禁止足利 検索



シンポジウム

～『素通り禁止!』がくれたもの～

足利シティプロモーションシンポジウム

～『素通り禁止!』がくれたもの～

入場無料

日時 3月9日(土) 13:30～16:40 (受付 13:00～)

定員 150人

会場 足利市民会館 小ホール (足利市有楽町 837)

※先着順とさせていただきます

※プログラムは変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

第1部	13:30	開演	総合コーディネーター：足利シティプロモーションアドバイザー 河井孝仁さん
	13:35	パネルディスカッション	テーマ：『素通り禁止!』がくれたもの パネリスト：タレント 手島 優さん 歌手 小田えつこさん、ほか、市民パネリストも参加
	14:40	パフォーマンス	足利プロモーション動画「ありのままの足利を。」上映 ミニライブ：ジャズピアニスト 板橋文夫さん
	15:00	休憩	
第2部	15:15	ショートプレゼンテーション	「足利だから実現できるライフスタイル」 半年間のワークショップに参加された皆さんが発表します。 発表者：足利市広報課 永井 健太さん 足利シティプロモーション推進協議会 久保 孝平さん 素通り禁止!足利市民ライター 石倉 康行さん NPO 法人おとむり 北林 夏さん
	16:10	ディスカッション	テーマ：『素通り禁止!』のその先へ ゲスト クリエイティブディレクター：佐倉康彦さん
	16:20	パフォーマンス	「今日から俺は!!」ダンスパフォーマンス：雅縁軍 (KAENN-GUN)
	16:40	閉演	

申込方法 「メール」または「電話」でお申込みください

メールでお申込み **office@city.ashikaga.lg.jp**

電話でお申込み **0284-20-2261**

受付時間 平日 8:30～17:00

申込時必要事項

①氏名
②電話番号
③同伴者氏名 (最大5名まで 同伴者がいる場合のみ)

足利市民会館のご案内

〒326-0801 足利市有楽町 837 ☎0284-41-2121

駐車場は地図のPの場所をご利用ください
北関東自動車道足利インターから6分

JR 南毛線足利駅から徒歩20分 (タクシー10分)
東武伊勢崎線足利駅から徒歩30分 (タクシー15分)

東京カメダ部 × 素通り禁止!足利 写真展同時開催!

これまでの足利シティプロモーションを振り返り、『素通り禁止!足利』が足利市内外にあたえてくれたもの、市民や市外の人々の意識変化などを再認識しました。

H30年(2018)度の足利CP推進事業の【ワークショップ】で生み出された“足利だから実現できるライフスタイル”を市民がプレゼンテーションしました。

このストーリーをベースに、足利市の具体的な施策等を織り交ぜて紹介していくパンフレット・リーフレットなどを(⇒定住・移住促進ツールとして)制作することも検討。※次年度以降

～『素通り禁止!』のその先へ～
今後の足利シティプロモーションが目指すこと、向かう方向を市長、河井教授に足利市出身のクリエイティブディレクター 佐倉氏を交えてディスカッションしました。



